高等部道徳科学習指導案 『美化委員会の仕事』

**１　主題名**　みんなのために　Ｃ-(１２）　社会参画　公共の精神

**2　ねらいと教材**

（1）ねらい

・みんなのために

・勤労や社会に奉仕することを理解し、みんなのために役に立つことをすることについて考えることができる。

・勤労等が自分のためにだけでなく、社会生活を支えるものであることを考えることができる。

（2）教材　　美化委員会の仕事　（P６０-６３）

**３ 主題設定の理由**

本主題は、以下の中学校新学習指導要領「特別の教科 道徳」（平成２９年３月告示）の内容項目のねらいを受け、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じるとともに、青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上に必要な道徳性を一層高めるために、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化した。

|  |
| --- |
| C　主として集団や社会との関わりに関すること　（１２）　社会参加画　公共の精神・社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。 |

(1)ねらいとする道徳的価値について【価値観】

「社会参画の意識」とは、社会生活を営む一員として、社会での様々な計画に積極的に関わろうとすることである。社会の形成に主体的に参画し、社会的な役割と責任を果たすことが大切になるとともに、実際の生活に関わっていこうとする態度を育てることにある。また、社会の全ての人々が自分も他人も共によりよく生きようとしていることを自覚し、互いに助け合い励まし合うということも必要となってくる。しかし、様々な体験や経験を通して人々との関わりを通す中では、他者に対する配慮を欠き、自己中心的な言動をとってしまったり、働くことや社会に奉仕することの充実感を味わう機会が少なく将来像をもちづらかったりすることがある。

学校生活や地域での生活で様々な役割や活動を通して働くことの尊さや意義を理解するとともに、働くことや奉仕することが社会生活を支えるものになり、自ら役に立とうとする意志や態度を育てていきたい。また、働くことで生きていることの実感を得ることや人生を豊かにするために働くことなどと関連付けて考えられるようにする。

（２）生徒の実態について【生徒観】

自分の気持ちや考えを言葉で表現することができる生徒、言葉やイラストから選択して表現すること

ができる生徒、表情やジェスチャー、身体の一部の動きで感情を表出することができる生徒を対象とする。

語彙が少ない生徒には、表情やジェスチャーなどを用いながら動いたりして、考やすいように促す。

また、気持ちの表現が難しい生徒は、表情イラストを用いて、自分の気持ちに近いものを選択できるよう

にする。

日常の学校生活においては、他教科等や自立活動、現場実習などと関連しながら、体験的な学習を通して、勤労の尊さや意義、将来の生き方などについて考えを深めるとともに、ボランティア活動など社会奉仕活動などから得る、充実感や公共のために役に立とうとする考えを育てる。

協働的な学習の中においても、他の生徒との経験を共有し合ったり、話し合ったりしながら、仲間と協力して学ぶことの楽しさを通して、勤労やボランティア活動をする喜びを体得し、進んで実践しようとする意欲や態度を養えるようにする。

家庭生活や地域生活では、現場実習先など様々な職種があり、多種多様な働き方や、働く場があること。また、地域のボランティアや清掃活動などに目を向け、社会や地域での将来の職業観や生活観について話し合い、考える機会を設ける。家庭や地域との連携を深めておく。

（３）教材について【教材観】

学校生活や現場実習の中での働くことや公共のため、みんなのために役割を担って取り組むことなどを理解する授業を通して、自らの心の葛藤や客観視した見方・考え方についての話を紹介している。

挿絵でも登場人物の表情や背景の色などで、心の葛藤などをイラストで示している。

この話を読んで、主人公の美緒さんの気持ちを推測する学習を行ってから、自分自身の生活につなげて、自らが進んで様々な活動や役割に参加する意義を考えるとともに、一人ひとりが社会の一員となることを自覚し、互いに積極的に協力し合おうとする意欲などについて、学級活動や生徒会活動等の体験を通して、振り返って考えることができる教材となっている。

**４　学習指導計画**

（1）全体計画 １時間（本時）

（2）準備　　　登場人物イラスト、実際の委員会活動時の画像、ワークシート、ミニホワイトボード

（3）指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動（主な発問） | 予想される生徒の発言 | 指導上の留意点☆評価の観点 |
| 導入 |  | １　これまでの学校生活や家庭生活などを振り返り、役割を担い、取り組んできたことを思い出したり、考えたりする。・役割を担った経緯を振り返り、その時に感じた気持ちや考えを発表する。 | ・家でのお手伝い・学級での係活動・生徒会活動（委員会）・あまりやったことがないこと | ・これまでの体験等を振り返る。これまでの学習の記録や画像を用いて、学校生活や家庭生活での場面を思い出す。・取り組んでいるときの自分の姿や表情をイメージしたり、心の葛藤について考えたりしたことを発表するように伝える。☆役割を担って仕事に取り組むこととの喜びややりがい、生きがい等について理解する。（思・判・表） |
| 展開 |  | 2　教材「美化委員会の仕事」を読み、本文の内容や情景等を思い浮かべる。課題　美緒さんが役割に取り組むことへの心の葛藤や気付きについて考えよう。〇大変な思いをする美緒さんに対して、あなたはどのように思いますか。・本文P６０を見て、美緒さんが感じている気持ちなど考え、P６２に記入する。・友達やグループで意見交換をし、発表する。〇おじさんの活動を見て、美緒さんはどのような気持ちや考えを持ったのでしょうか。・本文P６１の状況を参考にして、役割演技を行い、美緒さんやおじさんの立場での気持ちや考えを発表する。・友達と意見交換をする。〇おじさんの様子を見た美緒さんは、どのように変わっていくと思いますか。・本文P６１の美緒さんの気持ちに触れながら、P６２に考えを記入する３　学校や社会のためにどのような活動ができるかを考える。・P６３に提示してある活動に加え、これまでの小中学校も含めた学校生活や地域の行事等の経験を振り返って考え、付け加えて記入する。・書いた内容を発表する。 | ・大変なのに頑張っている。・目標を持って取り組んでいる。・楽しくなさそう。・やめればよい。・毎日大変だろうな・頑張ってるな・なぜ、毎日するんだろうか。・片付けるなどの役割の人なのかな。・これまで以上に委員会活動を頑張ろう。・何を書こうかな。・どんなことに取組んだかな。・地域の活動で手伝いをしたり、見たりしたことはなかったかな。 | ・声の抑揚をつけながら読み、心の葛藤など登場人物の様子が伝わるようにする。・本文から、美緒さんの思いがわかる言葉や、文字を抜き出したり、行動などについて考えたりするように伝える。・発表した意見を板書し、共有する・考えを深め、発表して良いことを伝える。・役割演技で、美緒さんやおじさん役、通行人の役など全員に割を振り、多面的・多角的な視点で考えられるようにする。・役割演技後に、演じた立場での意見を発表したことを板書しする。・友達と意見交換するときは、板書の意見を参考にして話をするように伝え、考えを深められるようにする。・友達との意見交換時の板書を参考にしたり、自身の校内での委員会活動時の想いや経験を踏まえて考える。・P６３の写真や活動をキーワードにして、タブレット端末を用いて参考になるものを検索する。・友達に尋ねたり、話し合ったりしながら、これまでの経験等を互いに振り返りをする。・発表する際は、教師とやりとりしながら、考えた理由についても尋ねていくようにする。☆自分の考えを書き、発表できたか。（知・技） |
| 終末 |  | ５　深めたことについて、共有し合う。・授業を振り返り、自分の生活やワークシートと絡めながら考える。 | ・これからの学校生活や地域でのくらし（社会生活）の中で取り組んでみよう | ・みんなのために取組むことで、周りが良くなるだけではなく、自らの生活や心の安定にも繋がっていくことを踏まえ、どのように実生活の中で意識したり、活かしたりするかを考えて過ごすように伝える。 |

（4）終末での教師の説話例

身近にある、家庭ごみの収集場の管理や清掃等は、地域で当番を決めてできるだけ清潔さを維持できるように、地域住民みんなで意識して取り組んでいることを伝える。併せて、ごみを出す際の分別やルール等にも触れ、みんなで意識して守るからこそ、地域が暮らしやすく、安全な生活を送ることができ、自らの生活や心の安定に繋がっていくことも伝える。

学校生活において、クラスの係活動や委員会活動などの役割を担う中で、周りからの評価を気にして取り組むのではなく、「こんな風に取り組んだら、自分がしてもらったときにはどのような気持ちになるだろうか。」との問いを持ち、自らの気持ちや考えと対峙しながら、日々の生活を送ってほしいことを伝える。